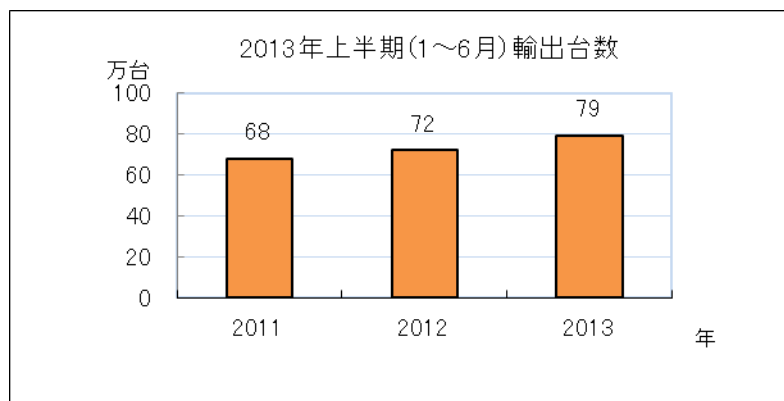
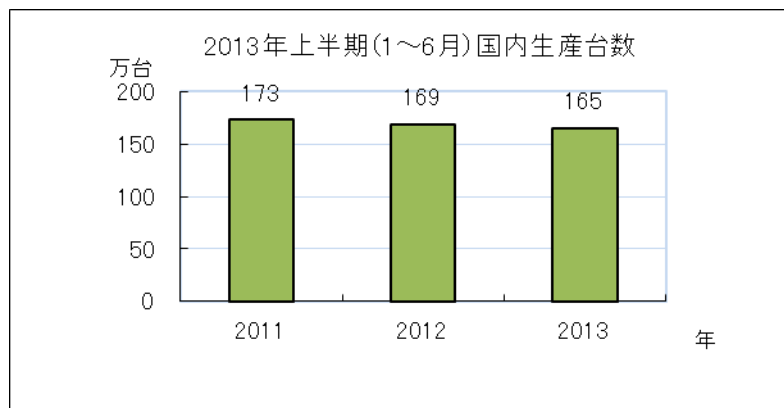
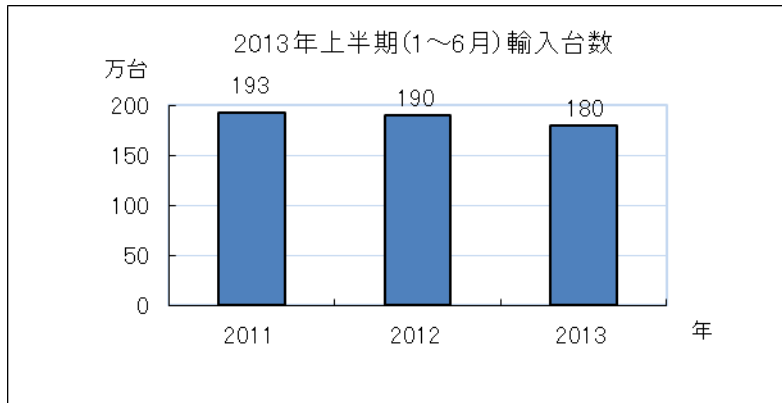


## 2013年上半期ドイツ自転車市況

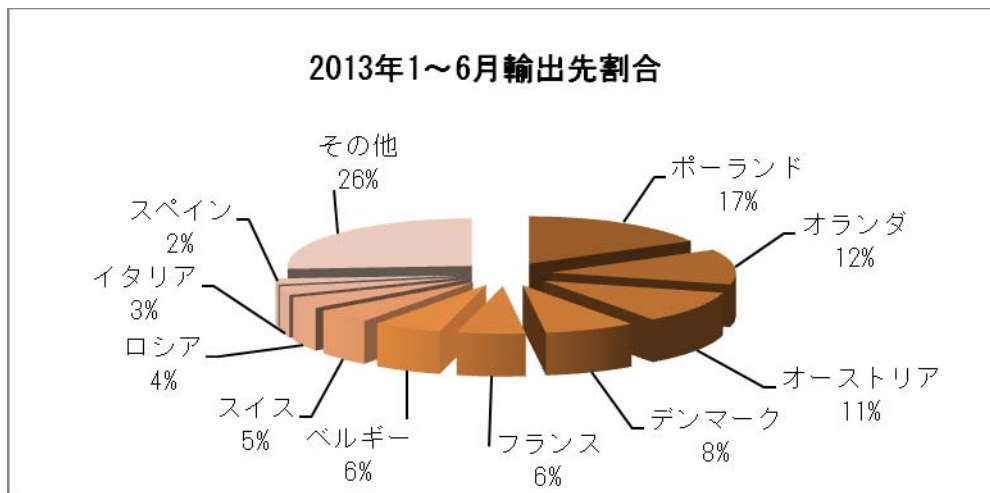
2013年は冬が長引き、春は例年になく多雨で寒く、自転車販売の需要期の開始が遅れたため、昨年同様に天候に悩まされ2013年上半期(1~6月)のドイツ自転車市場は不振となったと、ドイツ二輪産業協会(ZIV)では述べている。

2013年上半期ドイツ国内の自転車生産台数は前年比2.4%減の165万台と減少が続いている。自転車輸出台数は同比9.7%増の79万台と続伸したが、自転車輸入台数は同比5.3%減の180万台と減少が続いている。



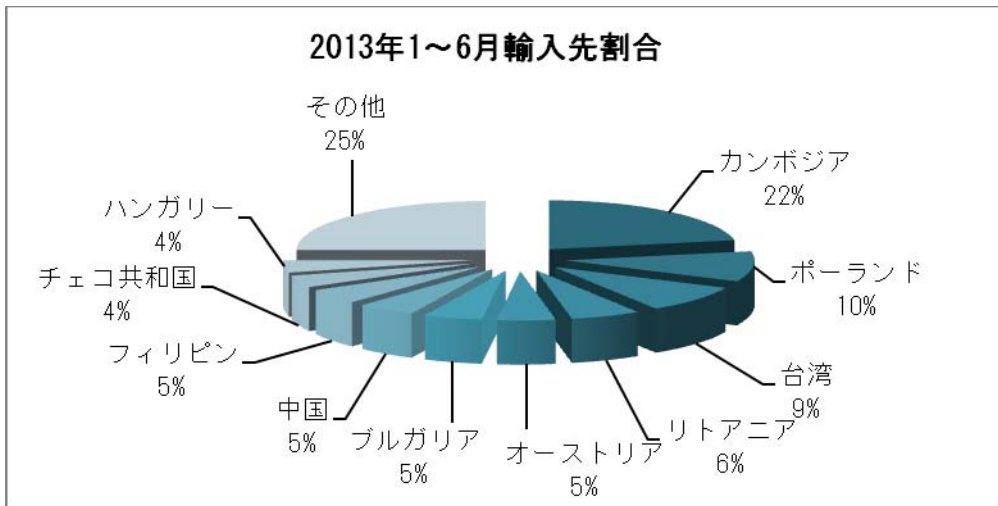


国別輸出先では、上位陣は順位の変動はあったものの昨年同様の顔ぶれであった。ポーランドが前年より6ポイント増の17%で最多となり、次いでオランダは同4ポイント減の12%であった。フランスは前年より8ポイント減の6%と大きく減少し順位も落とした。オーストリアは前年同様の順位と比率を維持し、デンマークは同2ポイント増の8%と更に上位に進出した。また、昨年から上位に出現したロシアも確実に比率を増やした。



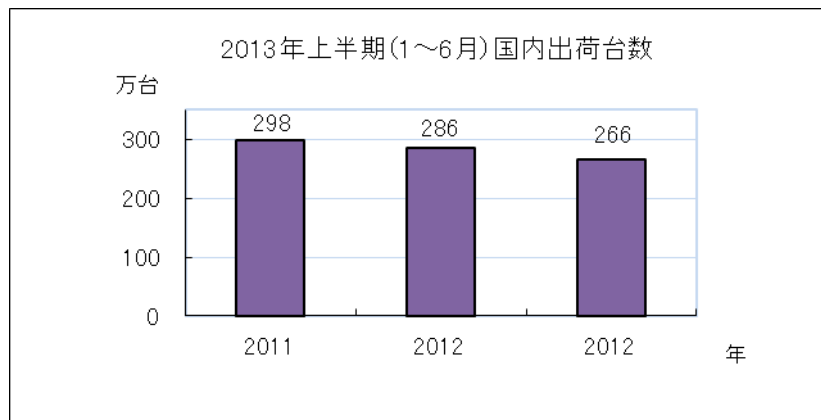
国別輸入先について、アジア地域では、昨年、最多輸入先へと急伸したカンボジアが前年より8ポイント増の22%と更に比率を伸ばした。台湾は昨年同様の比率を維持し、更に本年は中国5%、フィリピン5%の両国が新たに上位に食い込み、依然、アジア地域の輸入先の変化は続いている。

欧州地域の輸入先では、昨年同様の比率でポーランドが最多輸入先となり、次いでリトアニアが昨年同様の比率で続き、オーストリアが比率を増加させた。その他、東欧諸国のブルガリア、チェコ共和国及びハンガリーが上位を占めていることに変わりはないが、一方でルーマニアが上位から消え、更に昨年は全体で5位、欧州地域の輸入先の3位に入っていたオランダも一気に上位から姿を消す等、欧州地域の輸入先も変化している。



2013年上半期(1～6月)の国内出荷台数は、前年比7%減の266万台に落ち込んだ。ZIVでは冬と春の天候不順により上半期1～6月の自転車販売は伸び悩んだが、夏季は好天に恵まれたため、年間を通じてみれば販売は復調すると見ている。

また、ZIVでは、ドイツのEPAC販売台数は2012年は38万台であったが、2013年には43万台に達すると見ており、独自自転車市場におけるEPAC販売については、本年も堅調に推移すると期待しており、ドイツの車種別販売比率における電動アシスト自転車のシェアは2012年の10%から、2013年には15%に達するとの予想も立てている。



以 上

統計出所： ドイツ二輪産業協会(ZIV)